

海洋フォーラム：「大阪から世界の海へ～海とヒトの関係を考える～」

日 時：5月12日（日） 13時30分～17時（開場：13時）

場 所：海遊館ホール（大阪市港区、約260名収容）

主 催：笹川平和財団海洋政策研究所、海遊館

笹川平和財団海洋政策研究所では、その時々海洋に関する社会の関心事項の中からテーマを選定し、2002年から定期的に「海洋フォーラム」を開催しています。今回、海洋プラスチックなどの海洋環境の問題を取り上げるG20が大阪で行われる機会をとらえ、海遊館との共催で第162回目となる海洋フォーラム「大阪から世界の海へ～海とヒトの関係を考える～」を開催します。地元大阪における海洋の環境保全や生物多様性保全に関する取組みを皮切りに、G20に向けたメッセージを示すとともに、海とヒトの関わりを踏まえた海洋の将来に向けた議論を行います。是非、御参加ください。

プログラム

司会：竹田有里（環境ジャーナリスト）

開場：13:00

開会（ご挨拶）	
13:30	角南篤（笹川平和財団海洋政策研究所 所長）
第1部：大阪の海と世界の海	
13:35	「開催施設からのご挨拶、海遊館の取組み」 西田清徳（海遊館 館長）
13:45	「豊かな大阪の海に向けて」 岩井克巳（大阪湾沿岸域環境創造研究センター・専務理事）
14:05	「海の環境をめぐる世界の動き」 前川美湖（笹川平和財団海洋政策研究所 主任研究員）
14:25	「パネルディスカッション（座談・質疑）： 大阪の海と世界の海—G20に向けて」 モデレータ：竹田有里 パネリスト：西田清徳・岩井克巳・前川美湖・角南篤
＜休憩：15分＞	
第2部：海とヒトの関係を考える	
15:10	「海とヒトの関係学にこめた想い」 秋道智彌（山梨県立富士山世界遺産センター・所長）
15:25	「マグロ資源の管理・保全に向けて—完全養殖の役割」 升間主計（近畿大学水産研究所・所長）
15:45	「サメ資源保護と魚食」 鈴木隆史（桃山学院大学・兼任講師）
16:05	「世界で最も美しい湾クラブ」 高桑幸一（美しい富山湾クラブ・事務局長）
16:25	「パネルディスカッション（座談・質疑）： 将来に向けて取り組むべきこと—国際社会のなかで」 モデレータ：角南篤・秋道智彌 パネリスト：升間主計・鈴木隆史・高桑幸一
閉会（ご挨拶）	
16:55	西田清徳（海遊館 館長）